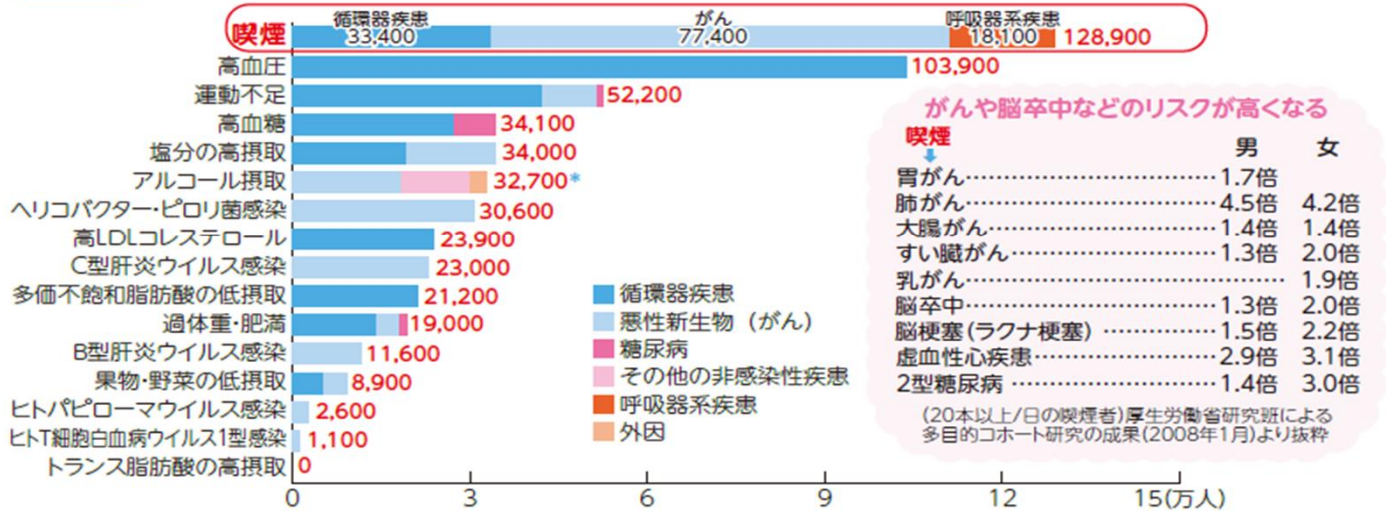


がん予防は、「がん検診」と「禁煙」から

病気死亡に影響を及ぼす第1位が「たばこ」。その多くは「がん」で死亡します

日本人の疾患死亡に影響する因子

喫煙の害 わが国におけるリスク要因別の関連死亡者数



*アルコール摂取は、循環器疾患死亡2,000人、糖尿病死亡100人の予防効果が推計値として報告されているが、図には含めていない。



がん予防は、①がん検診と②禁煙をはじめとした生活改善です。

生涯でがんにより死亡する確率は、男性が**25%**(4人に1人)、女性が**16%**(6人に1人)です。

がんの6割近くが治療で治りますので、**早期発見**が大切です。
 そのために**がん検診**へ行きましょう!



■がん検診の種類 (市区町村によって違い有り)

検診の種類	内容	対象者	受診間隔
胃がん検診	胃部レントゲン+問診	40才以上	年1回
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診+視診+内診+問診	20才以上	2年に1回
肺がん検診	胸部レントゲン+問診+喀痰細胞診	40才以上	年1回
乳がん検診	マンモグラフィ+視触診+問診	40才以上	2年に1回
大腸がん検診	便潜血検査2回法+問診	40才以上	年1回

※詳しくは、お住まいの市区町村へお問い合わせください。

～当健康保険組合で受けられるがん検診のサービス～

対象年齢引き下げ 郵送大腸がん検診	35歳以上の被保険者 (希望者)	11月～翌1月	郵送の大腸がん検診(便潜血検査)が無料で受けられます。対象者の自宅に案内が届きます。
NEW 郵送ピロリ菌検査	35歳以上の被保険者 (希望者)	11月～翌1月	大腸がん検診の機会に合わせて、便中のピロリ菌の有無を検査します。陽性者に対しては除菌治療を勧奨します。(加入期間中1回限り)
ウイメンズ検診	女性の被保険者	4月～翌2月	乳がん検診・子宮頸がん検診・骨密度検査を受けられた場合は、事後申請により費用補助します。
NEW PSA検査	40歳以上の被保険者	4月～翌2月	前立腺がん検診として、PSA検査を受けられた場合は、事後申請により費用補助します。(最大3,000円)

ご相談・お問い合わせは 健康保険組合

京都健康推進室 0120-81-6570 東京健康推進室 0120-81-3433